

主要産地における令和6年産水稻の生育状況等について 第4報 (令和6年6月7日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和6年6月7日)

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)		生育状況等 (参考)			
		平年、指標等に対する遅速等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)			
北海道	(生育)	<p>(6月1日現在)</p> <p>(全道) 移植作業は平年並に終了した。生育は平年並に進んでいる。(北海道 6月7日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並みである。(北海道空知総合振興局 6月7日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並に進んでいる。(北海道胆振総合振興局 6月7日付)</p> <p>(根室) 移植作業が順調に進んだことから、生育は平年並となっている。(北海道根室総合振興局 6月7日付)</p> <p>(釧路) 生育は平年並で推移。(北海道釧路総合振興局 6月7日付)</p> <p>(上川) 平均気温はやや低く日照時間が少なかったことにより、生育は平年並～やや遅く推移している。(北海道上川総合振興局 6月7日付)</p> <p>(室蘭) 生育は平年並に進んでいる。(北海道室蘭総合振興局 6月7日付)</p> <p>(オホーツク) 移植作業は平年並に終了した。生育は平年並である。(北海道オホーツク総合振興局 6月7日付)</p>		<p>(全国) この春の間にエルニニョ現象が終息して平常の状態になる可能性が高い(90%)。その後、秋にかけて平常の状態が長く可能性もあるが(40%)、一ニョ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。(気象庁 5月10日付)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p>		<p>・「なつぼし」及び「ゆめひかり」を中心とする品種構成となっている。 ・「青天の霹靂」「はれわたりの」が増加傾向となっている。</p> <p>(農林水産省 令和6年3月12日) (出典資料は以下同じ)</p>	
青森	(移植)	<p>(6月5日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植え遅れ状況は、県全体で100%となった。 ・県全体の田植え終わりは平年並の5月28日であった。 <p>(青森県 6月6日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月もみ枯病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>		<p>・「まっしぐら」を中心とする品種構成となっている。 ・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 ・「あきたこまち」の増産が期待されている。</p>	
岩手	(移植)	<p>(5月27日現在速報)</p> <p>【田植えの進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の田植え進捗(50%終了)は、平年より1日早い5月16日頃となった。 ・4月中旬から5月中旬にかけて気温が高く推移したことから、草丈は平年よりも長く、やや徒長気味の苗となり、充実度がやや低い苗もみられた。 ・一時的な低温もあったが、5月は好天が続き、活着は平年並みに良好となっている。 <p>(岩手県 5月30日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月もみ枯病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>		<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 ・「あきたこまち」の増産が期待されている。</p>	
宮城	(移植/生育)	<p>(5月29日現在) 【田植え進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県全体の田植え進捗率は99.1%となっている。なお、田植え終わりは5月23日で平年より1日遅く、前年と同じだった。 <p>(宮城県 5月30日付)</p> <p>(奥里) (5月31日調査) ・5月上旬に移植した調査区では、活着が早かったためすでに分けつが出ており、茎数は平年に比べ多め。 ・各品種とも、特に障害はなく順調に生育している。(宮城県農業改良普及センター 6月4日付)</p> <p>(巻米) (5月31日調査) ・5月中、下旬に気温の低い日もありましたが、おおむね気温は高く推移したため、活着は順調に進んだ。 ・各調査区での生育は、田植えの早いほどは分けつが出始めており順調に成長している。(宮城県農業改良普及センター 6月3日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>		<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。</p>	
秋田	(生育)	<p>【活着の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植翌日から5日間の平均気温の推移(移動平均気温)は、概ね5月9～18日の移植日では、平年並から平年を上回っているが、最高気温が20℃に達しない日や強風下で移植されたほ場、移植後の湛水深が浅かったほ場等では、穂代結れが見られている。 ・5月15日に調査ほ場内水中へ移植したせん根茎を移植10日目に調査した結果、せん根茎1本あたりの平均根数(A)は13.1本(平年比96%)、平均根長(B)は5.4cm(同100%)で、AとBを乗じて求めた乗積量は平年比95%と平年を下回った。 ・せん根茎30本あたりの発根総重量は平年比73%、根重割合が年差-4.9%と平年を下回った。 ・移植後10日間の平均気温は、15.7℃(平年差+0.1℃)で平年並だったが、最高気温の低い日が周期的にあり、活着は平年を下回る状況になっている。 <p>(秋田県 5月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月もみ枯病の発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>		<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>	
山形	(生育)	<p>・6月5日現在の生育は、平田部「はえぬき」で、草丈は平年並み、茎数は平年より少なく、葉数はやや少なくなっている。</p> <p>「つや姫」「雪若丸」も同じ傾向。(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 6月6日付)</p> <p>(鶴岡田川) (5月31日現在) ・活着は概ね良好だったが、一部圃場で5月16～17日の強風による葉先の傷みや5月24日以降の低温による生育の遅れなど、圃場により差がみられる。 ・作柄診断部の生育は、平年に比べ草丈が並かやや短く、茎数は少なく、葉数は並かやや少なくなっている。 (山形県県内総合支庁農業技術普及課 6月3日付)</p> <p>(酒田飽海) (5月31日現在) ・生育診断部の生育は、草丈は「はえぬき」で短く、「つや姫」「雪若丸」で平年並、茎数は「はえぬき」「雪若丸」が少なく、「つや姫」がやや少ない。 ・葉数は平年よりやや多い・多いとなっている。活着は良好と見ているが、その後、5月16～17日の強風と、穂代結れ時期・湛深のため、生育が停滞し、穂の伸長も不十分となり、葉色の低下、分けつ発生の停滞につながっていると思われる。(山形県県内総合支庁酒田農業技術普及課 6月4日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>		<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。 ・「あきたこまち」は増加傾向にある。</p>	
福島	(育苗)	<p>(5月9日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植作業の遅延は、始期(5%終了)が4月7日(平年差-1日)、遅期(50%終了)が4月15日(平年差-1日)、終期(95%終了)が4月26日(平年差+1日)となった。 ・生育は概ね順調だが、一部に、発芽の不揃いや病害の発生、苗焼け、徒長苗が見られる。 <p>(福島県 5月10日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>		<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつゆ」が定着している。</p>	
茨城	(生育)	<p>(水戸市) (5月20日現在) (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月3日付)</p> <p>【5月10日移植】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」「ふくまるS.L」で平年より1日遅く、「コシヒカリ」で平年並だった。 ・草丈は「あきたこまち」「コシヒカリ」で平年より長く、「ふくまるS.L」で平年並だった。茎数は「あきたこまち」で少なく、「ふくまるS.L」・「コシヒカリ」で平年よりやや少なかった。カラススケールによる葉色は「あきたこまち」で平年より長く、「ふくまるS.L」・「コシヒカリ」で平年よりやや少なかった。 <p>【5月10日移植】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹葉数の展開からみた生育は平年並だった。草丈および茎数は平年並みで、カラススケールによる葉色はやや淡かった。 <p>(龍ヶ崎市、4月25日移植) (5月27日現在) (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 5月28日付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で平年より3日早く、「ふくまるS.L」で1日遅く、「コシヒカリ」で1日遅い。 ・「あきたこまち」では、草丈は高く、茎数は平年並、葉色はやや淡い。「ふくまるS.L」では、草丈はやや高く、茎数は平年並、葉色はやや淡い。「コシヒカリ」では、草丈は高く、茎数はやや多く、葉色はやや淡い。 <p>(栃木県農政経営技術課 5月27日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p>		<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。近年、多収な多収米の作付け移行が進んでいる。</p>	
栃木	(生育)	<p>(生育観察) (5月24日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈：前年より長い傾向 ・茎数：上野原地区、農研センターで少ないが、前年並み(100%) ・葉色：前年と比べてやや淡い傾向 <p><早稲とちぎの差></p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈：真間で短い前年並み(99%) ・茎数：おくまで多いが、前年より少ない(89%) ・葉色：葉色では農研センターが淡いが、前年並み(-0.1) <p>(栃木県農政経営技術課 5月27日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p>		<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年、多収な多収米品種「とちぎの重」が増加傾向にある。</p>	

(生育状況等)			
千葉	<p>【生育概況】(5月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月20日種付けの各品種の生育遅延(葉令の進み)は平年並み~早く、葉数は平年並み~多く推移し、順調な生育をしている。草丈は長く、葉色は平年並み~やや濃く推移している。 5月1日種付けの「コンヒカリ」は葉令、草丈、葉数共に平年並み、葉色はやや濃くなっている。種付けが早く初期生育は順調だったほかでは、中干しを始める時期に入っているが、遅延障害がみられるほ場も多く、種付け時期、ほ場に異なる生育遅延がみられる。 <p>(千葉県農林水産部 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」及び「あきこまろ」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品種「和すけ」の本格栽培が開始
新潟	<p>【5月30日現在の県内全体の生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」では指標値に比べ、草丈は「並」、葉数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」の状況。 「新之助」では指標値に比べ、草丈は「短い」、葉数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」状況。(新潟県農林水産部 5月31日付) <p>【5月30日現在】(新潟県) 水稲の生育は指標値並。(新潟県農業普及指導センター 5月31日付)</p> <p>(新潟) 各品種の葉数は指標値並で、コンヒカリ「やや少」、こしいぶき「多」となっているもの、ほ場間差が大きい。一方で遅延懸念は生育旺盛なほ場が多い。(新潟県農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(巻) 対指標値「コンヒカリ」(草丈)「多い」(葉数)「やや少」(葉数)「やや多い」</p> <p>(こしいぶき) (草丈)「並」(葉数)「少」(葉数)「並」(新潟県農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(三幸) 「コンヒカリ」指標値比: 草丈「やや長」、葉数「やや少」、葉数「やや多」(三幸県農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(南魚沼) 「コンヒカリ」管内全体、草丈、長い、葉数、やや少、葉数、多い(南魚沼農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(十日町) 5月中旬までに移植されたほ場では、分けつが発生が始まっている。(十日町農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(上 越) 「コンヒカリ」葉数は指標値よりやや少から全程度で推移している。「こしいぶき」葉数は指標値より少なめに推移している。(上越農業普及指導センター 6月3日付)</p> <p>(糸魚川) 5月連休後のほ場では、概ね生育は順調となっている。5月15日頃の田植えでも分けつが見られる。(糸魚川農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(佐 渡) 草丈、葉数は指標値「並」、葉数は「少ない」状況。田植えが遅れたほ場も見られ、5月16~17日の強風の影響等で生育停滞しているほ場もある。(長岡県農業普及指導センター 6月3日付)</p> <p>【6月5日現在】(長岡) 「こしいぶき」(管内2か所平均) 葉数: 238 本/m² (指標値比 135% = 多) 葉数: 7.5 葉 (指標値比 +1.4 葉 = 多い)</p> <p>「コンヒカリ」(管内7か所平均) 葉数: 150 本/m² (指標値比 100% = 並) 葉数: 6.4 葉 (指標値比 +0.7 葉 = 多い)</p> <p>(長岡県農業普及指導センター 6月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コンヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきんずめ」「あきこまろ」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推進している。
富山	<p>(6月4日 生育観測値)</p> <p>【本田での生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「てんたかく」平年に比べ、草丈、葉数は、葉数は少なく、葉色はやや濃くなっている。 「コンヒカリ」平年に比べ、草丈、葉数は、葉数はかなり少なく、葉数は0.5遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉数は、葉数は少なく、葉色はやや濃くなっている。 「てんこもり」平年に比べ、草丈、葉数は、葉数はかなり少なく、葉数は0.2遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉数は、葉数は少なく、葉色はやや濃くなっている。 「富富富」近年に比べ、草丈は、葉数はかなり少なく、葉色は濃く、葉数は0.7遅れている。葉数を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈、葉数は、葉数は少なく、葉色はやや濃くなっている。 <p>(富山県農業技術課 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっているもの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんたかく」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。
石川	<p>【生育概況】(5月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草生品種や6月上旬移植の品種は、葉色が濃くなり、生育が進んできた。 一方で、一部ほ場では、植え込みの段階より、葉色が濃く、分けつの増加が緩やかなほ場もある。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」及び「あきこまろ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ゆきんずめ」が増加傾向にある。
福井	<p>(5月30日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草生品種や6月上旬移植の品種は、葉色が濃くなり、生育が進んできた。 一方で、一部ほ場では、植え込みの段階より、葉色が濃く、分けつの増加が緩やかなほ場もある。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」及び「あきこまろ」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「ゆきんずめ」が増加傾向にある。
長野	<p>(5月29日現在)</p> <p>【県北】移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【県南】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県農林水産部 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>向こう1か月結実枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」及び「あきこまろ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さか」の導入を推進している。
滋賀	<p>(5月29日現在)</p> <p>【県北】移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【県南】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県農林水産部 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大坂管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁大坂管区気象台)</p> <p>向こう1か月結実枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付けが推進されている。
兵庫	<p>(5月29日現在)</p> <p>【県北】移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【県南】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県農林水産部 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大坂管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁大坂管区気象台)</p> <p>向こう1か月結実枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」、「ヒノヒカリ」、「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。
岡山	<p>(5月29日現在)</p> <p>【県北】移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【県南】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県農林水産部 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月結実枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コンヒカリ」及び「あきこまろ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広島	<p>(5月29日現在)</p> <p>【県北】移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【県南】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県農林水産部 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し】(6月8日~7月7日)</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し】(6月~8月)</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月結実枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」、「あきこまろ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。

(生育状況等)			
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多く、日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの穂」への品種変更が定着してきている。
高 知	<p>(5月) 【早播種】 ・生育は概ね順調。強風による葉の折れや外葉の折れが見られるほ場があるが、生育への大きな影響は確認されていない。 ・移植が遅れた一部ほ場ではスクミリンゴガイによる欠株が多く見られたほか、若いもちをもち込んだほ場で若いもちの発生が見られた。</p> <p>【普通播種】 ・移植は5月上旬から始まり、最盛期は5月下旬でほぼ平年並みになる見込みである。 ・一部で育苗期間中に若いもちやばか苗病の発生が報告されている。移植後の生育は概ね順調である。 (高知県病害虫防除所 6月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多く、日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
福 岡	<p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】 ・早期水稲の田植えは平年並みで、5月15日までに終了した(最盛期は4月下旬)。 ・平年並みややや高い気温で経過しており、生育は概ね順調。</p> <p>【普通水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】 ・現在、6月上中旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月上中旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。 (移植) (福岡県農林業総合試験場 5月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多く、日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多く、日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>(5月中旬) 【作物の生育状況】 ・早期水稲は分けつ期 (生育) (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月23日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多く、日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「新茶389」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月8日～7月7日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多く、日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並みか多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、改良米率の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：県及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を本報掲載情報で取り纏め。
注2：生育状況等(播種後等実査資料の抜粋)については令和6年6月7日15時時点での取り纏め。
注3：更新情報は必ずしも最新ではない。

引用資料:

農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道農政部 6月7日)、
農作物生育状況(6月1日現在)(北海道空知総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道胆振総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道渡島総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道檜山総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道上川総合振興局 6月7日)、
農作物生育状況調査の概要(6月1日現在)(北海道留萌総合振興局 6月7日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況(6月1日現在)(北海道オホーツク総合振興局 6月7日)、
6月5日現在田植進捗状況(青森県 6月6日)、
農作物技術情報 第3号 水稲(岩手県 5月30日)、
令和6年度水稲の田植状況について(5月29日現在)(宮城県 5月30日)、
令和6年度美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良センター 6月4日)、
登米地域の稲作通信第2号(宮城県登米農業改良普及センター 6月3日)、
米づくり 技術情報 No.7(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農業技術環境課 6月6日)、
おいしい米づくり情報第6号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 6月3日)、
酒田・飽海米づくり情報第6号(山形県庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月4日)、
作況ニュース(第2号)(秋田県農林水産部 5月31日)、
主要な農作物の生育情報令和6年度第2号(令和6年5月9日現在)(福島県 5月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 5月28日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月3日)、
水稲生育診断速報2024No.1(栃木県農政部経営技術課 5月27日)、
水稲の生育状況と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月4日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第1号)(新潟県農林水産部 5月31日)、
令和6年度新発田地域水稲生育速報No.1(新潟県新発田農業普及指導センター 5月31日)、
稲作速報No.1(新潟県新潟農業普及指導センター 5月30日)、
水稲生育速報No.1(新潟県巻農業普及指導センター 5月30日)、
FAX稲作情報No.3(新潟県三条農業普及指導センター 5月30日)、
水稲生育速報(新潟県長岡農業普及指導センター 6月5日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.1(5月30日調査)(新潟県南魚沼農業普及指導センター 5月30日)、
十日町地域稲作生育速報(新潟県十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 5月30日)、
令和6年度コシヒカリ・こいしぶき生育速報No.1(新潟県上越農業普及指導センター 5月30日)、
令和6年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.1(新潟県糸魚川農業普及指導センター 5月30日)、
令和6年度稲作生育速報No.1(新潟県佐渡農業普及指導センター 5月30日)、
TACS情報第2号(富山県 6月4日)、
稲作情報No.6(水稲レベルアップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 5月31日)、
令和6年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月29日)、
病害虫発生予報情報Iについて令和6年度病害虫発生予報5月月報(高知県病害虫防除所 6月5日)、
主な農産物の生産状況(令和6年5月16日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月22日)、
令和6年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月23日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月6日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月6日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月6日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月6日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月6日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月6日広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月6日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月6日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月6日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月21日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月21日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月21日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月21日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月21日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月21日広島地方气象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月21日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月21日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月21日鹿児島地方气象台)、

エルニーニョ監視速報(No.380)(気象庁 5月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第2号(農林水産省 5月15日)、
令和6年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)